

表6 GCQ アンケート (2013) : 年齢別の性行動

	年齢					合計	Pearson χ^2
	24歳以下	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳以上		
過去6ヶ月間のアナルセックス経験							
過去6ヶ月間あり	38 84.4%	84 84.8%	99 86.1%	79 73.8%	62 68.9%	362 79.4%	0.01
過去6ヶ月間なし	7 15.6%	15 15.2%	16 13.9%	28 26.2%	28 31.1%	94 20.6%	
合計	45 100.0%	99 100.0%	115 100.0%	107 100.0%	90 100.0%	456 100.0%	
コンドーム使用状況							
非常用	23 60.5%	47 56.0%	55 55.6%	46 58.2%	31 50.0%	202 55.8%	0.85
常用	15 39.5%	37 44.0%	44 44.4%	33 41.8%	31 50.0%	160 44.2%	
合計	38 100.0%	84 100.0%	99 100.0%	79 100.0%	62 100.0%	362 100.0%	
彼氏や恋人などの相手とのコンドーム使用状況							
非常用	11 68.8%	20 57.1%	27 61.4%	13 54.2%	8 40.0%	79 56.8%	0.45
常用	5 31.3%	15 42.9%	17 38.6%	11 45.8%	12 60.0%	60 43.2%	
合計	16 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	24 100.0%	20 100.0%	139 100.0%	
友達やセクフレなど恋人ではない特定の相手とのコンドーム使用状況							
非常用	13 52.0%	25 55.6%	25 54.3%	22 53.7%	8 33.3%	93 51.4%	0.45
常用	12 48.0%	20 44.4%	21 45.7%	19 46.3%	16 66.7%	88 48.6%	
合計	25 100.0%	45 100.0%	46 100.0%	41 100.0%	24 100.0%	181 100.0%	
その場限りの相手とのコンドーム使用状況							
非常用	7 50.0%	18 51.4%	21 47.7%	27 65.9%	19 59.4%	92 55.4%	0.48
常用	7 50.0%	17 48.6%	23 52.3%	14 34.1%	13 40.6%	74 44.6%	
合計	14 100.0%	35 100.0%	44 100.0%	41 100.0%	32 100.0%	166 100.0%	

表7 GCQ アンケート (2013) : 年齢別の性行動、薬物使用、金銭を介した性行動、資材認知

	年齢										合計 n=491	Pearson χ^2	
	24歳以下 n=53		25-29歳 n=107		30-34歳 n=121		35-39歳 n=113		40歳以上 n=97				
過去6ヶ月間に、口内射精をしたことがありますか？または、口内射精をされたことはありますか？													
口内射精したことがある	12	22.6%	34	31.8%	33	27.3%	20	17.7%	21	21.6%	120	24.4%	0.23
口内射精されたことがある	7	13.2%	9	8.4%	10	8.3%	16	14.2%	6	6.2%	48	9.8%	
どちらもある	9	17.0%	13	12.1%	15	12.4%	24	21.2%	15	15.5%	76	15.5%	
どちらもない	25	47.2%	51	47.7%	63	52.1%	53	46.9%	55	56.7%	247	50.3%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験													
いずれもなし	44	83.0%	83	77.6%	90	74.4%	80	70.8%	70	72.2%	367	74.7%	0.60
バイアグラのみ併用	1	1.9%	9	8.4%	13	10.7%	15	13.3%	11	11.3%	49	10.0%	
他の薬物併用経験あり	8	15.1%	15	14.0%	18	14.9%	18	15.9%	16	16.5%	75	15.3%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験 (再掲)													
いずれもなし	44	83.0%	83	77.6%	90	74.4%	80	70.8%	70	72.2%	367	74.7%	0.45
他の薬物併用経験あり	9	17.0%	24	22.4%	31	25.6%	33	29.2%	27	27.8%	124	25.3%	
過去6か月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？													
ある	4	7.5%	7	6.5%	10	8.3%	6	5.3%	9	9.3%	36	7.3%	0.83
ない	49	92.5%	100	93.5%	111	91.7%	107	94.7%	88	90.7%	455	92.7%	
過去6か月間に相手にお金をもらってセックスをしたことがありますか？													
ある	6	11.3%	5	4.7%	4	3.3%	2	1.8%	2	2.1%	19	3.9%	0.03
ない	47	88.7%	102	95.3%	117	96.7%	111	98.2%	95	97.9%	472	96.1%	
新宿2丁目にあるコミュニティセンターakta(アクタ)に行ったことがありますか？													
行ったことがある	16	30.2%	23	21.5%	37	30.6%	23	20.4%	15	15.5%	114	23.2%	0.07
知っているが行ったことない	12	22.6%	33	30.8%	43	35.5%	40	35.4%	41	42.3%	169	34.4%	
知らない	25	47.2%	51	47.7%	41	33.9%	50	44.2%	41	42.3%	208	42.4%	
フリーペーパーakta monthly paperを読んだことがありますか？													
読んだことがある	17	32.1%	46	43.0%	63	52.1%	62	54.9%	51	52.6%	239	48.7%	0.04
知っているが読んだことない	9	17.0%	13	12.1%	23	19.0%	14	12.4%	10	10.3%	69	14.1%	
知らない	27	50.9%	48	44.9%	35	28.9%	37	32.7%	36	37.1%	183	37.3%	
あなたはヤローページを読んだことがありますか？													
読んだことがある	15	28.3%	30	28.0%	41	33.9%	36	31.9%	33	34.0%	155	31.6%	0.70
知っているが読んだことない	10	18.9%	20	18.7%	28	23.1%	17	15.0%	21	21.6%	96	19.6%	
知らない	28	52.8%	57	53.3%	52	43.0%	60	53.1%	43	44.3%	240	48.9%	
あなたは次のLiving Together計画のプログラムに参加したことはありますか？													
Living Together ラウンジに行った	3	5.7%	8	7.5%	10	8.3%	4	3.5%	5	5.2%	30	6.1%	0.48
Living Togetherのど自慢に行った	2	3.8%	1	.9%	4	3.3%	3	2.7%	1	1.0%	11	2.2%	
akta tag tour(アクタ タッグツアー)に	2	3.8%	1	.9%	0	.0%	2	1.8%	1	1.0%	6	1.2%	
認知のみ行ったことない	7	13.2%	21	19.6%	32	26.4%	30	26.5%	20	20.6%	110	22.4%	
いずれも知らない	39	73.6%	76	71.0%	75	62.0%	74	65.5%	70	72.2%	334	68.0%	
あなたは次のaktaが実施しているSaferSexCampaine2012のロゴを見たことがありますか？													
見たことがある	13	24.5%	27	25.2%	30	24.8%	22	19.5%	22	22.7%	114	23.2%	0.85
見たことはない	40	75.5%	80	74.8%	91	75.2%	91	80.5%	75	77.3%	377	76.8%	
これまでにあなたはSaferSexCampaine2012で配布しているローション付コンドーム(BAG型)をもらったことがありますか？													
ある	16	30.2%	37	34.6%	41	33.9%	41	36.3%	35	36.1%	170	34.6%	0.95
もらっていない	37	69.8%	70	65.4%	80	66.1%	72	63.7%	62	63.9%	321	65.4%	
あなたはHIVマップを見たことがありますか？													
見た	27	50.9%	51	47.7%	54	44.6%	51	45.1%	43	44.3%	226	46.0%	0.93
見ていない	26	49.1%	56	52.3%	67	55.4%	62	54.9%	54	55.7%	265	54.0%	

東海地域の MSM における HIV 感染対策の企画と実施

研究分担者：内海眞（独立行政法人国立病院機構東名古屋病院 院長）

研究協力者：石田敏彦、藤浦裕二、石塚茂（ANGEL LIFE NAGOYA）、勝水健吾（secret base）、
塩野徳史、金子典代、市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

研究要旨

東海地域では、名古屋地域を中心に日本国籍 MSM の感染増が著しいことから、名古屋地域在住の MSM を対象として、HIV 感染予防の啓発および HIV 抗体検査受検行動の促進活動を通じて、新規エイズ患者の減少と HIV 感染の拡大を防止することを本研究の目的とする。本研究は、当地域 MSM によって構成される ANGEL LIFE NAGOYA との協働で企画および実施を行ってきた。陽性者支援団体である secret base との連携で、陽性者に限定した曜日のセンター利用を設け、またピアグループミーティングとメール相談を実施した。また、他団体との連携においては行政だけではなく、依存症の自助会である NPO 法人三重ダルクとの連携により、MSM にも多い薬物依存と感染予防促進に向けた情報交換を行った。

1. コミュニティセンターrise の運営

2013 年 4 月～2014 年 1 月の来場者数は 2,490 人（前年度比 22.0%増加）となった。一方、初来場者数は 141 人（前年度比 40.8%減少）となった。

2. 臨時 HIV 検査会の受検促進

行政及び医療機関との協働による MSM 向け HIV 検査会を 6 月、12 月に実施し、受検者数はそれぞれ 408 人（陽性率 2.7%）、104 人（陽性率 0.0%）であった。

3. 分担研究での質問紙調査

抗体検査の生涯受検率は増加し、受検促進に一定の効果を上げているが、行動変容には十分にながっていない。プログラムの再検討と改善が必要である。

A. 研究目的

わが国における新規の HIV 感染者/AIDS 患者報告数は依然として増加傾向にあり、中でも日本国籍男性の同性間性的接触による感染増加が著しい状況である。首都圏地区のみならず、東海地域及び名古屋地域においても同様の増加が継続しており、新規 HIV 感染者に占めるエイズ発症者の割合が高く、感染拡大防止に向けた啓発普及と抗体検査受検行動の促進が急務とされている。MSM にとって当事者性の高い感染予防の情報提供や啓発資材の作成が必要とされ、東海地域においてゲイコミュニティの最も大きい名古屋地域での MSM を対象とした HIV 感染予防

啓発活動を、分担研究者と当地域の MSM によって構成される ANGEL LIFE NAGOYA(以下、ALN) との協働で企画および実施を行ってきた。

B. 研究方法

本研究では、日本国籍の MSM を主な対象として ALN によってその地域性にも配慮した以下のプログラムを企画および実施した。

1. コミュニティセンターrise の運営

昨年度と同様に開場時間を拡張し、また誘致企画としてのイラスト展の実施などを積極的に行った。さらに、陽性者限定の開場日を設けることで、陽性者支援団体との連携構築を行った。

2. MSMに効果的なHIV感染症・エイズ予防啓発の実施

友達づくりイベント「JOINT」を月一回開催し、コミュニティペーパー「HANA」を3,000部を年4回発行した。また啓発用コンドーム10,000個を制作し、バー、ハッテン場およびクラブイベントにてアウトリーチを行った。

3. MSM向け臨時HIV検査会への受検促進

行政及び医療機関と協働したMSM向け臨時HIV検査会を名古屋地区にて6月と12月に実施した。特に、WEBにおける検査会案内を強化した。

4. MSM向け相談の推進

コミュニティセンターrise（以下、rise）の通常の開場時間に追加して、臨時HIV検査に合わせた事前電話メール相談期間を設けて、研修を受けた相談担当者が専用回線にて対応を行った。

C: 研究成果

各プログラムの実施状況について報告する。

1. コミュニティセンターriseの運営

2006年より名古屋地域におけるHIV感染予防啓発の普及拠点として、名古屋地域でMSM向け商業施設が集まる名古屋市中区栄にriseをエイズ予防財団からの受託事業として開設し、運営管理を行っている。

2012年度までの開場時間は、以下の通りで実施した。

火曜日：18～22時 木・金曜日：20～23時

土曜日：16～22時 日曜日：14～20時

連携している陽性者支援団体secret baseのメンバーがスタッフを担当する、陽性者限定の開場を火曜18時～22時に設けた。休場は月・水曜日および年末年始とした。

2013年4月より、月曜18時～21時を新たに設けた。ハッピーマンデーになっている月曜日は来場者が増加した。また、水曜日は月に一回、

協働参加している世界エイズデーin NAGOYA 実行委員会のミーティングに継続して貸している。

今年度は、2013年4月～2014年1月までのrise来場者数を表1に、前年度との比較を図1に示した。1月までの総来場者数は2,490人で、前年度2,041人に対して前年度比122%と増加した。一方、初来場者数は141人と、前年度238人に対して59.2%と半減した。主な理由は昨年度初企画したイラスト展を目的とした初来場者が増加し、今年度は彼らガリピータとなったためである。6月に毎年開催されている臨時HIV検査会イベントNLGR+2013の開催説明会や活動報告会を実施したことで、コミュニティのキーパーソンであるゲイバーのマスターの来場誘致を実施することができた。

センターへの誘致を目的として開催しているイベントや各サークルのミーティング利用への貸し出し状況を表2に示した。また、それを目的とした来場者数を表3に示した。次年度も定期的なミーティングへの貸し出しと同様に、臨時企画を盛り込んで積極的な誘致を行っていく。

2. MSMに効果的なHIV感染症・エイズ予防啓発の実施

1) 友達づくりイベント「JOINT」

20代や最近名古屋地区に移動してきた、地元のゲイコミュニティとの接触が少ないMSMを主な対象とした、友達づくりイベント「JOINT」を毎月1回開催した。イベントの中にHIVに関する情報を盛り込んだ。ゲイコミュニティとの接触が少ないことで、啓発資材との接触が希薄でHIVに関する正しい情報が得にくい層を対象にすることで、riseの認知及び初来場を促進した。イベント内にHIV感染やSTI感染の予防知識を入れている。表4に「JOINT」のテーマ、参加者数、その中の初来場者数を示した。案内通知のフライヤーを上半期版と下半期版で各3,000部ずつ作成して、名古屋市内のゲイバーやショップ、クラブイベントにて配布を行った。作成したフライヤーを図2に示した。

2) 啓発用コンドームの制作

啓発用コンドームの制作と配布は 2000 年の ALN 発足時から継続しているプログラムである。名古屋市内のゲイ向け商業施設に協力を依頼して、回答のあった店舗のみに毎月一回第三日曜日に、コミュニティペーパー「HANA」や検査会案内のポスターと共にアウトリーチを行っている。東海地域では新規エイズ患者の割合が高い現状を鑑みて、入手に抵抗感の少なく、MSM に訴求性のあるデザインを採用した啓発用コンドームを制作し、バー・ハッテン場およびクラブイベントにて配布を行った。配布実績数を表 5 に示した。閉店した協力店舗や定休日の変更などにより、5 月は協力店舗数が少ない月となった。下半期に入ってから新規オープンしたバーの積極的な協力もあり、今年度 2013 年 4 月～2014 年 1 月までの総配布数は 5,643 個となり、前年度の 4,406 個より 28.1%の増加となった。ただし、ハッテン施設 2 件への配布数(8,640 個)、クラブイベント 4 回での配布数(1,200 個)および検査会お土産セットでの配布数(1,536 個)は除いている。

3) コミュニティペーパー「HANA」

年 4 回、各 3,000 部の発行を行った(ただし、3 回目は 12 月末、4 回目は 2 月予定)。コミュニティにより親しまれ、話題となる啓発資材となるように、表紙のモデルに地元名古屋の GOGO ボーイやゲイバーのマスターでもあるドラッグクイーンを起用した。このモデル採用により、啓発資材としてのコミュニティペーパーに関心の低かったゲイバーのマスターの認知を上げることができたし、マスターからゲイバー利用者への積極的な配布にもつながった。特集には、ゲイの利用率が高い SNS に潜むアンセーフアセックスへの落とし穴情報を掲載し、臨時 HIV 検査会の案内および結果の公表、その結果に見られる予防情報などを特集した。裏面はゲイコミュニティの商業施設の内、アウトリーチの協力店のマップと店の特色を掲載している。

コミュニティペーパーの配布店舗数はコンドームの配布先に、MSM も利用するミックスバー、ショップ、ハッテン施設、クラブイベントが加わる。印刷部数 3,000 部が数ヶ月で消費されるようになった。これは表紙モデルに地元キーパーソンを起用した効果が出てきたと思われる。

3. 臨時 HIV 検査会の受検促進

行政及び医療機関との協働により、MSM 向け臨時 HIV 検査会を名古屋地区にて 6 月と 12 月に実施した。岐阜地区においては 1 月に実施予定である。

1) NLGR+検査会

この臨時検査会は Nagoya Lesbian & Gay Revolution Plus (NLGR+) の開始された 2001 年(当時は NGR) から NLGR+ と同日に開催されている。イベントの連携性により、初日採血・翌日結果通知の形式を継続すると共に、事前説明(オリエンテーション)の手法を工夫するなどの臨時検査会としての形式も模索してきた。検査会場としては、2008 年まではイベントのメイン会場である池田公園(名古屋市中区栄)周辺に位置する愛知県医師会館やビジネスホテルを利用していたが、2010 年からは公共交通の便がよい千種保健所(名古屋市千種区覚王山)にて実施している。また、検査結果や受検者のニーズを行政(名古屋市)に還元することで、名古屋市保健所での夜間検査(月 2 回)、土曜検査(月 2 回)、休日検査(月 2 回)の実施に結びつけた。

2013 年 6 月 8～9 日に NLGR+2013 と同日に開催された。今年の NLGR+検査会では、イベント会場である池田公園から徒歩 10 分ほどに位置する中保健所で実施することができた。昨年度までは検査会場がイベント会場から 4 駅離れるという地理的要因が、イベントに関心が高い層の受検を阻害する要因となっていたが、今年はその要因が除外されるということで、募集により医学部・看護学部の女子学生にも検査前オリエンテーションを担当してもらうことで待ち時間を軽減した。最近 4 年間の受検状況を表 6 に

示した。前述の地理的阻害要因の排除により、総受検者数は前年度比 45.2%の増加につながった。

2) M 検 in 名古屋

2013 年 12 月 8 日に開催した臨時 HIV 検査会「M 検 in 名古屋」は、名古屋市から国立病院機構名古屋医療センターへの委託事業となった 2008 年から開始しており、毎年千種保健所で実施した。当初は NLGR+検査会と同じ初日採血・翌日結果通知の検査形式を採用していたが、受検者からのニーズに合わせて、2010 年からは即日検査とした。最近 4 年間の受検状況を表 7 に示した。

4. 連携プログラム

1) HIV 抗体検査を受ける人を対象とした質問紙調査

分担研究として、愛知県内の保健所 (16 施設) における HIV 抗体検査の受検者に対して質問紙調査が 2013 年 1 月～9 月まで実施された。有効回答 2,828 名の内、MSM と回答した 458 名 (MSM 割合 16.2%) を、ALN の啓発資材に接触した経験の有無により分析を行った。その結果の一部を表 8 に示した。資材への接触経験がある層は再受検率が 83.1%と高く、感染不安を感じた場合の相談先の認知、その他の広報資材への認知も高く、ALN の資材が受検促進に一定の効果を与えていると言える。その一方で、不特定の男性との性交渉における過去 6 ヶ月間のコンドーム常用率は 4 割と低く、資材への接触経験のない層と差が見られなかった。これは ALN の啓発資材が、受検促進に一定の効果を挙げているが、予防行動までには至っていないことを意味している。今後の資材の検討が急務である (資料 1.2 参照)。

2) コミュニティネットワークを用いた MSM を対象とする性の健康、HIV/AIDS 感染予防行動に関する質問紙調査—GCQ アンケート—

分担研究として、東海地区在住の MSM におけるインターネット質問紙調査を実施した。有効回答数 364 名の結果を年齢別に分析した一部を表 9-1,2 に示した。過去の抗体検査受検率は 7 割と高く、昨年度の調査よりも 10%増加していた。また、過去 6 ヶ月間に友人や知り合いと HIV 感染について話した経験がある割合も 6 割近く、昨年度 5 割よりも意識が高くなっていることが分かる。その一方、アナルセックス経験者が 9 割以上であるのに対して、アナルセックスの相手が特定であるか非特定であるかに関係なく、コンドーム常用率が 4 割に留まり、昨年度とほぼ同等である。この結果から、HIV 抗体検査を受ける人を対象とした質問紙調査と同様、啓発資材への接触が受検促進に対しては一定の効果が見られたが、行動変更には十分につながっていないと言える (資料 3.4 参照)。

3) 陽性者支援団体 secret base

名古屋地域を中心に活動する陽性者支援団体として secret base が設立された。予防啓発活動や検査会受検促進においては、常に両輪として当事者支援団体との連携が必要となる。昨年と同じく、陽性者限定のピアミーティングやメール相談を実施している。

4) NPO 法人 PROUD LIFE

セクシュアルマイノリティ全般を対象として活動している NPO 法人 PROUD LIFE は、コミュニティセンターで電話相談事業を行っている。事前相談研修にて、HIV・STI 感染に関する基礎知識の説明や紹介先医療機関などのリソースの確認を行った。また、多様な相談に対応するための相互支援を確認した。

5) NPO 法人三重ダルク

名古屋医療センターによると、近年は新規感染者の中にも、薬物利用がトリガーとなって HIV に感染する MSM が増えてきている。そのため、薬物利用に対する知識と依存症から脱却を

支援する団体との連携が必要であると考え。NPO 法人三重ダルクとは、6月9日(NLGR+ステージ講演もあり) および11月16日(同日 WADN 実行委員会のプレエイズデー講演会もあり) の2回に渡り、情報交換を行った。感染不安の相談から薬物利用の告白に至るケースや自助ミーティング中にセクシュアリティのカミングアウトがあるなど、お互いが経験した問題点を共有すると共に、薬物利用者に(対面および電話にて) 対応する姿勢などの講習を受けた。次年度は年に数回の勉強会開催を計画中である。

6) 名古屋市

名古屋市健康対策課とは年2回の臨時検査会の実施およびエイズ対策会議委員としての出席を通して、MSM に対する保健所検査への誘致の強化を継続している。委託事業費をいただき、資材の作成を行っている。

7) 愛知県

愛知県健康福祉部とはエイズ対策会議委員としての出席や検査会イベントでのブース出展を通して、MSM に対する保健所検査への誘致の強化を継続している。また、委託事業費をいただき、保健所検査案内等の資材の作成を行っている。

5. MSM 向け相談の推進

rise の通常の開場時間に追加して、6月・12月の臨時 HIV 検査に合わせた事前電話メール相談期間を設けて、研修を受けた相談担当者が専用回線にて対応を行った。また、相談事業の広

報に用いたツイッターや SNS をそのまま利用して相談してくるケースもあった。表10に相談件数と rise の開場日数及び開場時間も参考のために記載した。昨年度は臨時 HIV 検査会に関する事前相談が増えたが、今年度は感染不安に対する相談が不定期にある傾向にあった。

D. 考察

今年度はコミュニティセンターrise でのイラスト展の実施や WEB 広報の強化など、ゲイコミュニティへの接触が少ない層を狙った企画を取り込んだ。アンケート調査から受検側には一定の効果が上がっていることが分かった。しかし、行動変容にはつながらず、東海地区で新規エイズ患者の割合を減少させるには、さらなるプログラムの改善が必要である。

E. 結語

コミュニティセンターrise の来場を促すことには一定の成果を上げたが、東海地区では新規感染者患者数に占める AIDS 患者の割合が高く、HIV 検査受検につながる、継続したプログラムの実施が必要である。

F. 発表論文等

(論文)

1. 塩野徳史, 金子典代, 市川誠一, 山本政弘, 健山正男, 内海眞, 木村哲, 生島嗣, 鬼塚哲郎: MSM (Men who have sex with men) における HIV 抗体検査受検行動と受検意図の促進要因に関する研究, 日本公衆衛生学雑誌, 2013, 60 卷(10 号), 639-650

表1：2013年度（2013年4月～2014年1月）のコミュニティセンターrise来場者数

	総来場者数	初来場者数
4月	187	1
5月	252	6
6月	385	54
7月	240	6
8月	236	8
9月	242	13
10月	274	12
11月	229	7
12月	220	6
1月	225	28
合計	2,490	141

図1：H25年度および前年度（4月～1月）のrise来場者数

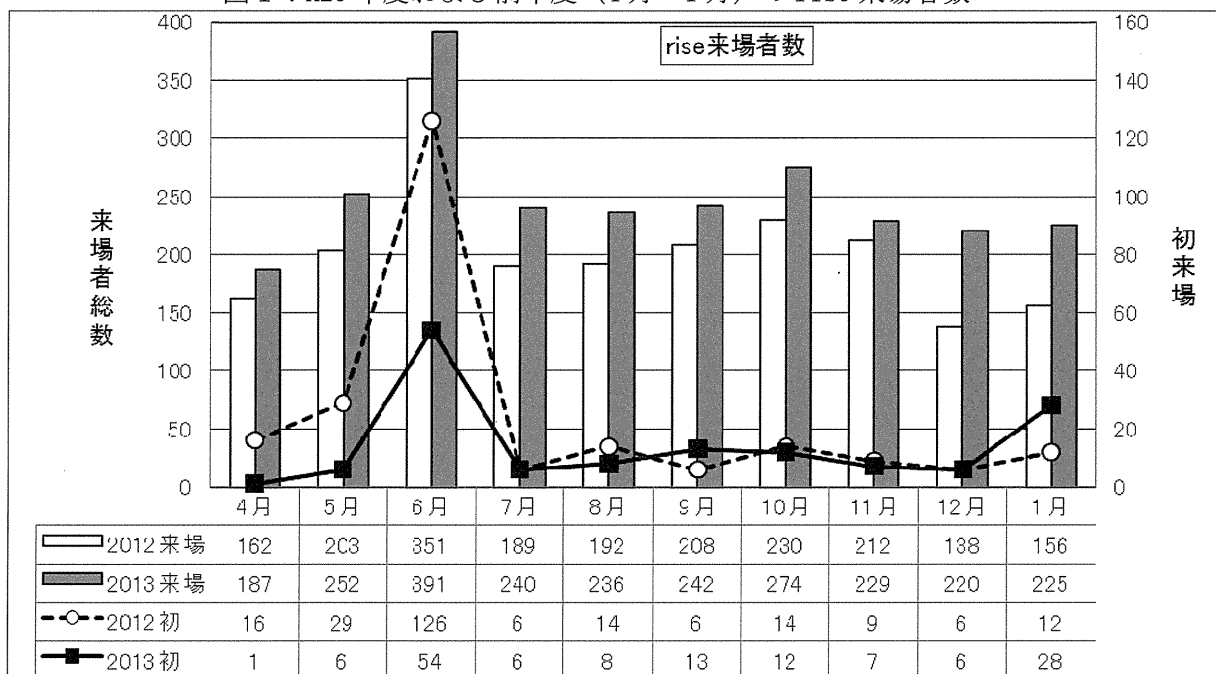


表2：コミュニティセンターriseの利用状況

イベント	JOINT→（若者・コミュニティに接触が少ない層向けイベント）		
サークル	手話教室@rise	僕らのゲイライフプロジェクト	
臨時	展覧会「虹色スナップ」	フラワーアレンジメント	ライフプランニング
定期利用	WADN ミーティング	GID PROUD ミーティング	ダルクミーティング

表3：イベントおよび利用貸しにおける来場者数（2013年4月～2014年1月）

	実施回数	総来場者数	初来場者数
イベント	7回	71名	5名
サークル	16回	219名	12名
定期貸出	17回	145名	9名

表4：JOINT参加者数（2013年4月～2014年1月）

	内容	総参加者数	初参加者数
4月6日	お花見	11	3
5月18日	ゲイバーへ行こう	8	2
6月15日	リッツパーティ	10	0
7月20日	名古屋港祭りへ行こう	9	0
9月15日	HOW TO SEX 講座	10	0
10月19日	ハロウィーンパーティ	15	0
11月17日	ゲイバーへ行こう	8	0
12月21日	クリスマスパーティ	20	2
1月18日	新春！ゲイカルタ大会	5	0

図2：友達づくりイベント「JOINT」告知フライヤー

JOINT → 2013年度 下半期予定

10月19日 19:30～
「ハロウィンパーティー」
コスプレ歓迎！！
皆でレッツ！ハロウィン！！

11月16日 19:30～
「ゲイバーへ行こう！」
初心者の方もスタッフが
フォローするのでこの機会に
ゲイバーデビュー！

12月21日 19:30～
「クリスマスパーティー」
カップルもお一人様も
皆でワイワイ！メリクリ！！

1月18日 19:30～
「新春！ゲイカルタ大会！」
手作りゲイ版カルタ！！
で新春カルタ大会♪

2月15日 19:30～
「セント・バレンタイン！」
大事な人に
手作り！？チョコでアタック！！

3月15日 19:30～
「ゲイバーへ行こう！」
初心者も玄人も
皆で楽しもう！！

Joint! ってなに？
ゲイ・バイ男性の為の友達作りの支援イベントです！お菓子を作ったり、皆でゲイバーへ飲みに行ったりエロトークや、真面目にHIVなど性感感染症の話など。参加者同士で楽しく話したり、遊んだりしています。初めての方や、一人での参加もお気軽にどうぞ！

いつ、どこでやってるの？
月に一度、第三土曜日に栄にある
コミュニティーセンター rise で行っています。
企画によって場所、開始時間などが異なる場合があります。詳しくはメール、twitterなどでご確認下さい！

いくらかかるの？
参加費は基本無料です。
企画により材料費を500円程度頂く事もあります。ご確認の上、ご参加下さい。
※「ゲイバーへ行こう」は実費にてお願いします。
(飲む量にもよりますが2000円～3000円)
twitter : @rise_aln
mail : jointaln@gmail.com

久屋広場
地下鉄 栄駅
13番出口
やよい軒 rise
FM
コミュニティセンター rise
池田公
松坂屋本館

愛知県名古屋市
中区栄 4-18-16
NEWS BLD.3F

10月の joint リッツパーティー

表5：啓発用コンドーム配布実績（2013年4月～2014年1月）

	店舗数	配布数（昨年度数）
4月	36	504 (475)
5月	27	381 (438)
6月	36	520 (493)
7月	35	517 (469)
8月	37	593 (475)
9月	37	594 (450)
10月	37	584 (405)
11月	37	627 (354)
12月	37	655 (382)
1月	39	668 (465)

※ハッテン場施設2件への配布数（8640個）、クラブイベント4回への配布数（1200個）および検査会お土産セットでの配布数（1536個）は除く

表 6 : NLGR+検査会における最近 4 年の結果

	2013 年	2012 年	2011 年	2010 年
受検者数	408	281	254	189
初受検率	-	21.0%	17.3%	9.2%
HIV 陽性	11	4	4	6
陽性率	2.7%	1.4%	1.6%	3.2%

表 7 : M 検 in 名古屋における最近 4 年の結果

	2013	2012	2011	2010
総受検者数	104	94	106	33
初受検率	-	16%	25%	3%
HIV 陽性者数	0	2	2	0
陽性率	0.0%	2.1%	1.9%	0.0%

表8：HIV抗体検査を受ける人を対象にした質問紙調査の結果

愛知県内

	CBOの活動や資材の認知				合計		χ ² 検定 によるp値
	なし n=310		あり n=148		n=458		
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？							
再受検	208	67.1%	123	83.1%	331	72.3%	< 0.01
初受検	100	32.3%	25	16.9%	125	27.3%	
無回答	2	0.6%	0	0.0%	2	0.4%	
年齢							
24歳以下	59	19.0%	30	20.3%	89	19.4%	0.03
25-34歳	116	37.4%	54	36.5%	170	37.1%	
35-44歳	84	27.1%	54	36.5%	138	30.1%	
45歳以上	49	15.8%	10	6.8%	59	12.9%	
無回答	2	0.6%	0	0.0%	2	0.4%	
居住形態							
はい(1人暮らし)	122	39.4%	65	43.9%	187	40.8%	0.35
いいえ	188	60.6%	83	56.1%	271	59.2%	
無回答							
婚姻状況							
結婚している	42	13.5%	3	2.0%	45	9.8%	< 0.01
結婚していない	267	86.1%	145	98.0%	412	90.0%	
無回答	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%	
健康保険加入状況							
国民健康保険/職場の健康保険	274	88.4%	130	87.8%	404	88.2%	0.36
被扶養者の健康保険（家族・親族等の扶養）	21	6.8%	14	9.5%	35	7.6%	
未加入*1	15	4.8%	4	2.7%	19	4.1%	
HIV/STIや検査に関する知識正答*1							
ウィンドウピリオドについて	270	87.1%	130	87.8%	400	87.3%	0.78
偽陽性の可能性について	215	69.4%	116	78.4%	331	72.3%	0.11
偽陽性の場合、再検査の必要性がある	267	86.1%	132	89.2%	399	87.1%	0.55
重複感染について	226	72.9%	119	80.4%	345	75.3%	0.20
服薬治療について	280	90.3%	137	92.6%	417	91.0%	0.62
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに自分の家族に相談できると思いますか？							
できない/できないと思う	218	70.3%	109	73.6%	327	71.4%	0.21
わからない	40	12.9%	11	7.4%	51	11.1%	
できる/できると思う	52	16.8%	28	18.9%	80	17.5%	
無回答							
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに身近な友達に相談できると思いますか？							
できない/できないと思う	150	48.4%	46	31.1%	196	42.8%	< 0.01
わからない	32	10.3%	13	8.8%	45	9.8%	
できる/できると思う	128	41.3%	89	60.1%	217	47.4%	
無回答							
HIVや性感染症について、相談できる場所(電話相談など)を知っていますか？							
知らない	150	48.4%	44	29.7%	194	42.4%	< 0.01
知っている	160	51.6%	104	70.3%	264	57.6%	
無回答							
過去6ヶ月間に“HIVに感染しているかも…”と不安に感じたことはありましたか？							
まったくなかった/あまりなかった	157	50.6%	80	54.1%	237	51.7%	0.64
よくあった/時々あった	152	49.0%	68	45.9%	220	48.0%	
無回答	1	0.3%	0	0.0%	1	0.2%	
あなたはこれまでに性感染症にかかったことはありますか？							
ない	132	56.4%	65	51.6%	197	54.7%	0.27
ある	99	42.3%	61	48.4%	160	44.4%	
無回答	3	1.3%	0	0.0%	3	0.8%	
広報資材の認知（複数回答）							
各行政のホームページ	85	27.4%	72	48.6%	157	34.3%	< 0.01
各行政の紙資材-ポスター-広報誌等	64	20.6%	83	56.1%	147	32.1%	
HIVマップ	11	3.5%	50	33.8%	61	13.3%	< 0.01
HIV検査・相談マップ	112	36.1%	75	50.7%	187	40.8%	< 0.01
AC広告(エイズ予防財団)	25	8.1%	49	33.1%	74	16.2%	< 0.01
特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							
常用	53	25.9%	37	34.6%	90	28.8%	0.11
非常用	152	74.1%	70	65.4%	222	71.2%	
特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							
常用	74	39.4%	46	41.4%	120	40.1%	0.72
非常用	114	60.6%	65	58.6%	179	59.9%	
特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							
常用	34	33.7%	10	76.9%	44	38.6%	< 0.01
非常用	67	66.3%	3	23.1%	70	61.4%	
特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況*2							
常用	36	39.1%	7	87.5%	43	43.0%	0.01
非常用	56	60.9%	1	12.5%	57	57.0%	

*1 集計のさいに無回答を含んでいる。

*2 過去6ヶ月間に膣性交または肛門性交を行ったと回答したもののみを分析対象としたため総数が異なる。

表 9-1 : GCQ アンケート (2013) : 年齢別の検査行動、HIV の身近さ、性感染症罹患、性行動

	年齢					合計 n=364	Pearson χ^2
	24歳以下 n=103	25-29歳 n=84	30-34歳 n=60	35-39歳 n=52	40歳以上 n=65		
これまでにHIV抗体検査を受けようと思ったことはありますか？							
ある	85 82.5%	74 88.1%	55 91.7%	47 90.4%	56 86.2%	317 87.1%	0.45
ない	18 17.5%	10 11.9%	5 8.3%	5 9.6%	9 13.8%	47 12.9%	
これまでにHIV抗体検査を受けたことはありますか？							
ある	51 49.5%	64 76.2%	50 83.3%	41 78.8%	49 75.4%	255 70.1%	0.00
ない	52 50.5%	20 23.8%	10 16.7%	11 21.2%	16 24.6%	109 29.9%	
過去1年間にHIV抗体検査を受けたことはありますか？							
ある	38 36.9%	45 53.6%	27 45.0%	22 42.3%	28 43.1%	160 44.0%	0.25
ない	65 63.1%	39 46.4%	33 55.0%	30 57.7%	37 56.9%	204 56.0%	
過去1年の検査場所							
保健所の通常検査	18 17.5%	22 26.2%	9 15.0%	8 15.4%	5 7.7%	62 17.0%	0.05
保健所の即日検査	19 18.4%	27 32.1%	18 30.0%	9 17.3%	17 26.2%	90 24.7%	0.13
保健所の夜間検査	2 1.9%	3 3.6%	1 1.7%	1 1.9%	0 0.0%	7 1.9%	0.64
医療センターなどの病院	0 0.0%	5 6.0%	2 3.3%	5 9.6%	5 7.7%	17 4.7%	0.04
郵送検査キット	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.3%	0.28
その他	4 3.9%	1 1.2%	3 5.0%	2 3.8%	6 9.2%	16 4.4%	0.21
あなたの友達や知り合いにHIVに感染している人はいると思いますか？							
いる	16 15.5%	29 34.5%	26 43.3%	29 55.8%	31 47.7%	131 36.0%	0.00
いると思う	28 27.2%	10 11.9%	8 13.3%	11 21.2%	10 15.4%	67 18.4%	
いないと思う	29 28.2%	20 23.8%	15 25.0%	5 9.6%	7 10.8%	76 20.9%	
いない	12 11.7%	6 7.1%	4 6.7%	2 3.8%	5 7.7%	29 8.0%	
わからない	18 17.5%	19 22.6%	7 11.7%	5 9.6%	12 18.5%	61 16.8%	
過去6か月間に彼氏や恋人とHIVやエイズについて話したことがありますか？							
ある	36 35.0%	37 44.0%	19 31.7%	23 44.2%	27 41.5%	142 39.0%	0.07
ない	32 31.1%	32 38.1%	30 50.0%	14 26.9%	20 30.8%	128 35.2%	
彼氏・恋人がいなかった	35 34.0%	15 17.9%	11 18.3%	15 28.8%	18 27.7%	94 25.8%	
過去6か月間に友達や知り合いとHIVやエイズについて話したことがありますか？							
ある	60 58.3%	47 56.0%	33 55.0%	33 63.5%	35 53.8%	208 57.1%	0.85
ない	43 41.7%	37 44.0%	27 45.0%	19 36.5%	30 46.2%	156 42.9%	
過去6か月間に周囲の人とHIVやエイズについて話したことがありますか？							
ある	65 63.1%	51 60.7%	34 56.7%	35 67.3%	41 63.1%	226 62.1%	0.83
ない	38 36.9%	33 39.3%	26 43.3%	17 32.7%	24 36.9%	138 37.9%	
次の中で、これまでにかったことがある性感染症はありますか？ (あてはまるものすべて)							
梅毒	1 1.0%	9 10.7%	7 11.7%	8 15.4%	14 21.5%	39 10.7%	0.00
A型肝炎	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	0 0.0%	1 1.5%	2 0.5%	0.43
B型肝炎	1 1.0%	4 4.8%	5 8.3%	2 3.8%	10 15.4%	22 6.0%	0.00
C型肝炎	0 0.0%	2 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.5%	0.15
クラミジア	2 1.9%	4 4.8%	4 6.7%	3 5.8%	8 12.3%	21 5.8%	0.09
尖圭コンジローマ	1 1.0%	2 2.4%	1 1.7%	4 7.7%	3 4.6%	11 3.0%	0.17
淋病	4 3.9%	2 2.4%	2 3.3%	3 5.8%	7 10.8%	18 4.9%	0.16
HIV感染症	0 0.0%	2 2.4%	4 6.7%	2 3.8%	6 9.2%	14 3.8%	0.03
赤痢アメーバ	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%	1 1.9%	3 4.6%	5 1.4%	0.10
毛じらみ	11 10.7%	16 19.0%	25 41.7%	16 30.8%	34 52.3%	102 28.0%	0.00
性器ヘルペス	0 0.0%	3 3.6%	1 1.7%	1 1.9%	3 4.6%	8 2.2%	0.30
その他	2 1.9%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	4 1.1%	0.73
いずれもなし	84 81.6%	51 60.7%	28 46.7%	27 51.9%	18 27.7%	208 57.1%	0.00
これまでに男性とセックスをしたことがありますか？							
ある	94 91.3%	81 96.4%	60 100.0%	51 98.1%	62 95.4%	348 95.6%	0.08
ない	9 8.7%	3 3.6%	0 0.0%	1 1.9%	3 4.6%	16 4.4%	
これまでに男性とアナルセックスをしたことがありますか？							
ある	89 86.4%	81 96.4%	59 98.3%	48 92.3%	59 90.8%	336 92.3%	0.04
ない	14 13.6%	3 3.6%	1 1.7%	4 7.7%	6 9.2%	28 7.7%	

表 9-2 : GCQ アンケート (2013) : 年齢別の性行動

	年齢					合計	Pearson χ^2
	24歳以下	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳以上		
過去6ヶ月間のアナルセックス経験							
過去6ヶ月間あり	73 82.0%	68 84.0%	48 81.4%	32 66.7%	48 81.4%	269 80.1%	0.16
過去6ヶ月間なし	16 18.0%	13 16.0%	11 18.6%	16 33.3%	11 18.6%	67 19.9%	
合計	89 100.0%	81 100.0%	59 100.0%	48 100.0%	59 100.0%	336 100.0%	
コンドーム使用状況							
非常用	40 54.8%	39 57.4%	29 60.4%	22 68.8%	23 47.9%	153 56.9%	0.44
常用	33 45.2%	29 42.6%	19 39.6%	10 31.3%	25 52.1%	116 43.1%	
合計	73 100.0%	68 100.0%	48 100.0%	32 100.0%	48 100.0%	269 100.0%	
彼女や恋人などの相手とのコンドーム使用状況							
非常用	24 60.0%	20 58.8%	16 72.7%	7 50.0%	8 42.1%	75 58.1%	0.36
常用	16 40.0%	14 41.2%	6 27.3%	7 50.0%	11 57.9%	54 41.9%	
合計	40 100.0%	34 100.0%	22 100.0%	14 100.0%	19 100.0%	129 100.0%	
友達やセクフレなど恋人ではない特定の相手とのコンドーム使用状況							
非常用	20 60.6%	16 69.6%	17 50.0%	11 84.6%	11 57.9%	75 61.5%	0.23
常用	13 39.4%	7 30.4%	17 50.0%	2 15.4%	8 42.1%	47 38.5%	
合計	33 100.0%	23 100.0%	34 100.0%	13 100.0%	19 100.0%	122 100.0%	
その場限りの相手とのコンドーム使用状況							
非常用	18 60.0%	11 44.0%	7 50.0%	11 78.6%	10 41.7%	57 53.3%	0.17
常用	12 40.0%	14 56.0%	7 50.0%	3 21.4%	14 58.3%	50 46.7%	
合計	30 100.0%	25 100.0%	14 100.0%	14 100.0%	24 100.0%	107 100.0%	

表 10 : 相談件数 (2013年4月~2014年1月)

	相談件数	rise 開場日数	rise 開場時間
4月	3	26	119
5月	1	26	112
6月	1	26	120
7月	5	26	115
8月	7	27	122
9月	2	26	117
10月	3	26	116
11月	2	26	118
12月	2	21	94
1月	5	22	100

資料1 HIV抗体検査受検者を対象とした質問紙調査（2013年1月～9月）の概要

愛知県内

	2011年			2012年												2013年									2011年	2012年	2013年	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月				
参加施設数	3			16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	3	16	16	
検査件数	153			458	456	414	418	473	543	449	448	467	473	376	482	414	402	370	488	346	468	439	476	510	153	5,457	3,913	
(再掲)	男性	118			339	340	295	305	339	379	310	341	322	326	264	334	315	288	271	366	253	326	331	365	366	118	3,894	2,881
	女性	35			119	115	115	113	134	161	138	106	145	147	110	147	99	111	99	121	92	141	108	109	144	35	1,550	1,024
	その他	0			0	1	4	0	0	3	1	1	0	0	2	1	0	3	0	1	1	1	0	2	0	0	13	8
陽性判明数	1			1	2	0	2	0	1	3	5	1	0	2	0	1	4	0	0	0	1	0	2	4	1	17	12	
(再掲)	男性	0			1	2	0	1	0	1	3	5	1	0	2	0	1	3	0	0	0	1	0	2	4	0	16	11
	女性	1			0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	その他	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
陽性判明率	0.65%			0.22%	0.44%	0.00%	0.48%	0.00%	0.18%	0.67%	1.12%	0.21%	0.00%	0.53%	0.00%	0.24%	1.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.21%	0.00%	0.42%	0.78%	0.65%	0.31%	0.31%	
男性受検者中の陽性判明率	0.00%			0.29%	0.59%	0.00%	0.33%	0.00%	0.26%	0.97%	1.47%	0.31%	0.00%	0.76%	0.00%	0.32%	1.04%	0.00%	0.00%	0.00%	0.31%	0.00%	0.55%	1.09%	0.00%	0.41%	0.38%	
質問紙回収数	130			382	371	331	347	362	422	332	335	352	332	270	346	309	305	320	370	216	361	323	347	382	130	4,182	2,933	
質問紙回収率	85.0%			83.4%	81.4%	80.0%	83.0%	76.5%	77.7%	73.9%	74.8%	75.4%	70.2%	71.8%	71.8%	74.6%	75.9%	86.5%	75.8%	62.4%	77.1%	73.6%	72.9%	74.9%	85.0%	76.6%	75.0%	

資料2 HIV抗体検査受検者を対象とした質問紙調査：MSM以外男性・女性・MSMの各群における比較
愛知県内

	MSM以外の男性 n=1624		女性 n=746		MSM n=458		合計 n=2828		χ ² 検定 によるp値	
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？										
	再受検	658	40.5%	265	35.5%	331	72.3%	1254	44.3%	<0.01
	初受検	960	59.1%	479	64.2%	125	27.3%	1564	55.3%	
	無回答	6	0.4%	2	0.3%	2	0.4%	10	0.4%	
年齢										
	24歳以下	237	14.6%	237	31.8%	89	19.4%	563	19.9%	<0.01
	25-34歳	689	42.4%	321	43.0%	170	37.1%	1180	41.7%	
	35-44歳	430	26.5%	121	16.2%	138	30.1%	689	24.4%	
	45歳以上	239	14.7%	49	6.6%	59	12.9%	347	12.3%	
	無回答	29	1.8%	18	2.4%	2	0.4%	49	1.7%	
居住地										
	愛知県	1467	90.3%	684	91.7%	406	88.6%	2557	90.4%	0.22
	それ以外の地域*	157	9.7%	62	8.3%	52	11.4%	271	9.6%	
居住形態										
	はい(1人暮らし)	538	33.1%	208	27.9%	187	40.8%	933	33.0%	<0.01
	いいえ	1082	66.6%	535	71.7%	271	59.2%	1888	66.8%	
	無回答	4	0.2%	3	0.4%	0	0.0%	7	0.2%	
婚姻状況										
	結婚している	613	37.7%	165	22.1%	45	9.8%	823	29.1%	<0.01
	結婚していない	1006	61.9%	580	77.7%	412	90.0%	1998	70.7%	
	無回答	5	0.3%	1	0.1%	1	0.2%	7	0.2%	
健康保険加入状況										
	国民健康保険/職場の健康保険	1509	92.9%	542	72.7%	404	88.2%	2455	86.8%	<0.01
	被扶養者の健康保険（家族・親族等の扶養）	79	4.9%	173	23.2%	35	7.6%	287	10.1%	
	未加入*	36	2.2%	31	4.2%	19	4.1%	86	3.0%	
HIV/STIや検査に関する知識正答*										
	ウィンドウピリオドについて	1404	86.5%	652	87.4%	400	87.3%	2456	86.8%	0.54
	偽陽性の可能性について	1033	63.6%	422	56.6%	331	72.3%	1786	63.2%	
	偽陽性の場合、再検査の必要性がある	1190	73.3%	525	70.4%	399	87.1%	2114	74.8%	<0.01
	重複感染について	1162	71.6%	506	67.8%	345	75.3%	2013	71.2%	
	服薬治療について	1347	82.9%	577	77.3%	417	91.0%	2341	82.8%	<0.01
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに自分の家族に相談できると思いますか？										
	できない/できないと思う	754	46.4%	359	48.1%	327	71.4%	1440	50.9%	<0.01
	わからない	279	17.2%	97	13.0%	51	11.1%	427	15.1%	
	できる/できると思う	585	36.0%	286	38.3%	80	17.5%	951	33.6%	
	無回答	6	0.4%	4	0.5%	0	0.0%	10	0.4%	
HIVや性感染症について、あなた自身が困ったとき、不安なときに身近な友達に相談できると思いますか？										
	できない/できないと思う	874	53.8%	376	50.4%	196	42.8%	1446	51.1%	<0.01
	わからない	245	15.1%	88	11.8%	45	9.8%	378	13.4%	
	できる/できると思う	501	30.8%	279	37.4%	217	47.4%	997	35.3%	
	無回答	4	0.2%	3	0.4%	0	0.0%	7	0.2%	
HIVや性感染症について、相談できる場所(電話相談など)を知っていますか？										
	知らない	989	60.9%	502	67.3%	194	42.4%	1685	59.6%	<0.01
	知っている	629	38.7%	243	32.6%	264	57.6%	1136	40.2%	
	無回答	6	0.4%	1	0.1%	0	0.0%	7	0.2%	
過去6ヶ月間に“HIVに感染しているかも…”と不安に感じたことはありましたか？										
	まったくなかった	474	29.2%	268	35.9%	60	13.1%	802	28.4%	<0.01
	あまりなかった	548	33.7%	217	29.1%	177	38.6%	942	33.3%	
	時々あった	467	28.8%	211	28.3%	203	44.3%	881	31.2%	
	よくあった	128	7.9%	44	5.9%	17	3.7%	189	6.7%	
	無回答	7	0.4%	6	0.8%	1	0.2%	14	0.5%	
過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？										
	ない*	858	52.8%	745	99.9%	382	83.4%	1985	70.2%	<0.01
	ある	766	47.2%	1	0.1%	76	16.6%	843	29.8%	
過去6ヶ月間に相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？										
	ない*	1613	99.3%	681	91.3%	442	96.5%	2736	96.7%	<0.01
	ある	11	0.7%	65	8.7%	16	3.5%	92	3.3%	
あなたはこれまでにの性感染症にかかったことはありますか？										
	ない	1450	89.3%	357	48.1%	197	54.7%	2004	73.5%	<0.01
	ある	162	10.0%	382	51.5%	160	44.4%	704	25.8%	
	無回答	12	0.7%	3	0.4%	3	0.8%	18	0.7%	
広報資料の認知（複数回答）										
	各行政のホームページ	488	30.0%	234	31.4%	157	34.3%	879	31.1%	0.22
	各行政の紙資料-ポスター-広報誌等	182	11.2%	70	9.4%	147	32.1%	399	14.1%	
	CBOの活動や資料	5	0.3%	6	0.8%	148	32.3%	159	5.6%	<0.01
	HIVマップ	64	3.9%	27	3.6%	61	13.3%	152	5.4%	
	HIV検査・相談マップ	493	30.4%	259	34.7%	187	40.8%	939	33.2%	<0.01
	AC広告(エイズ予防財団)	74	4.6%	33	4.4%	74	16.2%	181	6.4%	

*集計のさいに無回答を含んでいる。

資料3 GCQ アンケート 2013：年齢別の基礎属性

	年齢										合計	Pearson χ^2	
	24歳以下		25-29歳		30-34歳		35-39歳		40歳以上				
	n=103	n=84	n=60	n=52	n=65	n=364							
性的指向													
ゲイ(同性愛者)	89	86.4%	70	83.3%	51	85.0%	39	75.0%	54	83.1%	303	83.2%	0.14
バイ(両性愛者)	12	11.7%	12	14.3%	8	13.3%	11	21.2%	5	7.7%	48	13.2%	
その他	2	1.9%	2	2.4%	1	1.7%	2	3.8%	6	9.2%	13	3.6%	
あなたは、現在だけかと一緒に暮らしていますか？													
一人暮らし	31	30.1%	40	47.6%	27	45.0%	23	44.2%	32	49.2%	153	42.0%	0.00
家族と同居	64	62.1%	26	31.0%	24	40.0%	19	36.5%	22	33.8%	155	42.6%	
家族以外と同居	8	7.8%	18	21.4%	9	15.0%	10	19.2%	11	16.9%	56	15.4%	
あなたは現在、結婚していますか？													
結婚している	3	2.9%	1	1.2%	2	3.3%	0	0%	4	6.2%	10	2.7%	0.27
結婚していない	100	97.1%	83	98.8%	58	96.7%	52	100.0%	61	93.8%	354	97.3%	
あなたは現在、健康保険を持っていますか？													
国民健康保険	35	34.0%	25	29.8%	14	23.3%	11	21.2%	17	26.2%	102	28.0%	0.00
職場の健康保険	30	29.1%	52	61.9%	44	73.3%	38	73.1%	42	64.6%	206	56.6%	
被扶養者の健康保険(家族・親族等の扶養)	28	27.2%	5	6.0%	0	0%	0	0%	1	1.5%	34	9.3%	
持っていない	10	9.7%	2	2.4%	2	3.3%	3	5.8%	5	7.7%	22	6.0%	
次の中でこれまでに利用したものはありますか？(あてはまるものすべて)													
ゲイバー	78	75.7%	76	90.5%	55	91.7%	49	94.2%	56	86.2%	314	86.3%	0.00
ゲイナイト	53	51.5%	58	69.0%	49	81.7%	41	78.8%	42	64.6%	243	66.8%	
ゲイショップ	49	47.6%	58	69.0%	46	76.7%	43	82.7%	51	78.5%	247	67.9%	0.00
PC出会い系サイト	43	41.7%	49	58.3%	42	70.0%	36	69.2%	42	64.6%	212	58.2%	
携帯出会い系サイト	60	58.3%	66	78.6%	49	81.7%	40	76.9%	47	72.3%	262	72.0%	0.01
mixiなどのSNS	59	57.3%	61	72.6%	47	78.3%	44	84.6%	44	67.7%	255	70.1%	
エロ系SNS	25	24.3%	33	39.3%	29	48.3%	23	44.2%	27	41.5%	137	37.6%	0.02
スマートフォンのゲイ向けアプリ	80	77.7%	57	67.9%	46	76.7%	42	80.8%	40	61.5%	265	72.8%	
ゲイ向けサークル	15	14.6%	19	22.6%	12	20.0%	15	28.8%	17	26.2%	78	21.4%	0.23
ゲイ向け合コン	18	17.5%	15	17.9%	17	28.3%	7	13.5%	5	7.7%	62	17.0%	
ゲイの乱パ	1	1.0%	9	10.7%	7	11.7%	6	11.5%	7	10.8%	30	8.2%	0.04
有料のハッテン場	47	45.6%	53	63.1%	36	60.0%	40	76.9%	49	75.4%	225	61.8%	
野外のハッテン場	15	14.6%	27	32.1%	21	35.0%	26	50.0%	34	52.3%	123	33.8%	0.00
ハッテン場で有名な公共施設	27	26.2%	29	34.5%	28	46.7%	27	51.9%	38	58.5%	149	40.9%	

資料4 GCQ アンケート 2013：年齢別の性行動、薬物使用、金銭を介した性行動、資材認知

	年齢					合計 n=364	Pearson χ^2
	24歳以下 n=103	25-29歳 n=84	30-34歳 n=60	35-39歳 n=52	40歳以上 n=65		
過去6ヶ月間に、口内射精をしたことがありますか？または、口内射精をされたことはありますか？							
口内射精したことがある	29 28.2%	29 34.5%	17 28.3%	14 26.9%	15 23.1%	104 28.6%	0.01
口内射精されたことがある	23 22.3%	15 17.9%	8 13.3%	5 9.6%	5 7.7%	56 15.4%	
どちらもある	26 25.2%	19 22.6%	12 20.0%	8 15.4%	10 15.4%	75 20.6%	
どちらもない	25 24.3%	21 25.0%	23 38.3%	25 48.1%	35 53.8%	129 35.4%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験							
いずれもなし	92 89.3%	70 83.3%	46 76.7%	40 76.9%	47 72.3%	295 81.0%	0.02
バイアグラのみ併用	4 3.9%	2 2.4%	5 8.3%	8 15.4%	9 13.8%	28 7.7%	
他の薬物併用経験あり	7 6.8%	12 14.3%	9 15.0%	4 7.7%	9 13.8%	41 11.3%	
過去6ヶ月間のセックス時の薬物併用経験（再掲）							
いずれもなし	92 89.3%	70 83.3%	46 76.7%	40 76.9%	47 72.3%	295 81.0%	0.05
他の薬物併用経験あり	11 10.7%	14 16.7%	14 23.3%	12 23.1%	18 27.7%	69 19.0%	
過去6ヶ月間に、コンドームを買ったことがありますか？							
ある	41 39.8%	30 35.7%	23 38.3%	19 36.5%	24 36.9%	137 37.6%	0.98
ない	62 60.2%	54 64.3%	37 61.7%	33 63.5%	41 63.1%	227 62.4%	
過去6ヶ月間に、コンドームをすぐに使えるよういつも身近に持っていましたか？							
いつも持っていた	37 35.9%	37 44.0%	32 53.3%	25 48.1%	30 46.2%	161 44.2%	0.59
時々持っていた	32 31.1%	26 31.0%	13 21.7%	12 23.1%	16 24.6%	99 27.2%	
持っていなかった	34 33.0%	21 25.0%	15 25.0%	15 28.8%	19 29.2%	104 28.6%	
過去6ヶ月間に相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？							
ある	6 5.8%	6 7.1%	5 8.3%	4 7.7%	4 6.2%	25 6.9%	0.97
ない	97 94.2%	78 92.9%	55 91.7%	48 92.3%	61 93.8%	339 93.1%	
過去6ヶ月間に相手にお金をもらってセックスをしたことがありますか？							
ある	12 11.7%	8 9.5%	1 1.7%	1 1.9%	1 1.5%	23 6.3%	0.01
ない	91 88.3%	76 90.5%	59 98.3%	51 98.1%	64 98.5%	341 93.7%	
柴にあるCommunity center riseに行ったことがありますか？							
行ったことがある	22 21.4%	18 21.4%	14 23.3%	13 25.0%	20 30.8%	87 23.9%	0.10
知っているが行ったことない	20 19.4%	30 35.7%	18 30.0%	19 36.5%	21 32.3%	108 29.7%	
知らない	61 59.2%	36 42.9%	28 46.7%	20 38.5%	24 36.9%	169 46.4%	
ANGEL LIFE NAGOYAが配布しているコミュニティペーパーH.A.N.Aを読んだことがありますか？							
読んだことがある	26 25.2%	24 28.6%	17 28.3%	16 30.8%	21 32.3%	104 28.6%	0.96
知っているが読んだことない	16 15.5%	12 14.3%	6 10.0%	8 15.4%	10 15.4%	52 14.3%	
知らない	61 59.2%	48 57.1%	37 61.7%	28 53.8%	34 52.3%	208 57.1%	
ANGEL LIFE NAGOYAが配布しているコンドームを持ち帰ったことがありますか？							
過去1年間に持ち帰った	24 23.3%	24 28.6%	21 35.0%	15 28.8%	18 27.7%	102 28.0%	0.00
1年以上前に持ち帰った	0 .0%	5 6.0%	7 11.7%	9 17.3%	12 18.5%	33 9.1%	
知っているが持ち帰ったことない	11 10.7%	9 10.7%	6 10.0%	10 19.2%	11 16.9%	47 12.9%	
知らない	68 66.0%	46 54.8%	26 43.3%	18 34.6%	24 36.9%	182 50.0%	
IIあなたはANGEL LIFE NAGOYAが広報しているゲイ向け無料HIV検査会(M検)を知っていますか？							
利用した	8 7.8%	17 20.2%	9 15.0%	9 17.3%	14 21.5%	57 15.7%	0.01
知っているが利用したことはない	24 23.3%	25 29.8%	14 23.3%	22 42.3%	21 32.3%	106 29.1%	
知らない	71 68.9%	42 50.0%	37 61.7%	21 40.4%	30 46.2%	201 55.2%	
IIあなたは毎年池田公園で開催されているNLGRに行ったことがありますか？(あてはまるものすべてに)							
いずれか行った	43 41.7%	22 26.2%	7 11.7%	6 11.5%	20 30.8%	98 26.9%	0.00
いずれもない	60 58.3%	62 73.8%	53 88.3%	46 88.5%	45 69.2%	266 73.1%	

近畿地域のMSMにおけるHIV感染対策の企画と実施

分担研究者：鬼塚哲郎（京都産業大学文化学部 教授）

研究協力者：後藤大輔、町登志雄（公益財団法人エイズ予防財団）、宮田良、有田匡、赤田知華子、大畑泰次郎、伴仲昭彦（MASH大阪）、岳中美江（特定非営利活動法人CHARM）、川畑拓也（大阪府立公衆衛生研究所）、塩野徳史、金子典代、市川誠一（名古屋市立大学看護学部）

研究要旨

平成25年度、MASH大阪は以下のような研究事業を実施した。

1. 一次予防関連プログラムの執行

(1) コミュニティレベル

①月刊のコミュニティペーパー<SaL+>（以下、<SaL+>（サルポジ））を継続して発行した。2013（平成25）年4月～12月の期間に、月平均187店舗および45団体に21名のボランティアが約6,365部を配布した。内容に関しては昨年度に引き続き本年度もエイズ予防/セクシュアルヘルス関連情報を前面に押し出した。②季刊のコミュニティペーパー<南界堂通信>を、<SaL+>とは異なる中高年層を対象として、彼らのセクシュアルヘルス、ライフスタイル、教養を三つの柱として制作した。2013（平成25）年4月～12月の期間に計3回（5月、8月、11月）発行し、平均195店舗、45団体に21名のボランティアが1,804部配布した。

(2) グループ・個人レベル

①コミュニティスペース<dista>関連事業を執行した。期間中に月平均624.3名が来場した。そのうち初来場者は月平均63.1名で期間全体としては568名であった。昨年度で来場者数は増加傾向にあり、初来場者数は、昨年よりも高かった。2013（平成25）年12月までの相談件数は128件であった。昨年度に引き続き、相談・支援体制の強化と今後の体制構築を目的として「対人支援会議」を月に1度設けた。②STI勉強会<SEX & LIFE 勉強会>を新たに<性の健康教室>と名称を変更し、毎月語り合うテーマを変え工夫を凝らして開催した。毎月2名～6名の参加者があった。③若年層ネットワーク構築支援プログラム<Step>を4月～12月で開催した。総計172名が参加、うち25名がプログラム初参加の若者であった。

2. 二次予防関連プログラムの執行

(1) 「エイズ予防のための戦略研究」により2007～2010（平成19～22）年に実施されたSTIクリニックでの受検を促進するプログラムを2回実施した。実施期間は1回目を2013年8月～9月、2回目を2013（平成25）年12月～翌年2月までとした。本年度はハッテン場ロッカーにおける広報をさらに拡大する形で実施した。1回目の受検者は222名、HIV陽性率は2.7%であった。

(2) 2013（平成25）年7月に6つの診療所・クリニックからの協力を得て、<クリニックでHIV&梅毒検査うけてみる>キャンペーンを実施した。検査実施期間は7月16日～28日で、広報は大型のゲイイベントにおいてのみ行った。来場者1,300名に資材を配布し、受検者数は6名であった。このキャンペーンを利用して、HIV・梅毒の感染を早期に知る機会になった。

(3) 自治体や検査の現場で働く保健師やNGOワーカー等、セクターを越えたネットワークを創出し、MSMにとっての検査環境の質の向上を目的とした、プロフェッショナル・ミーティング (PM) を昨年度に引き続き開催した。2013 (平成25) 年5月に実施し、参加者は18名であった。

(4) 大阪府の検査場面におけるMSMへの対応の研修会を実施した。MSM対応の模擬体験を保健師や医師等を対象として2013 (平成25) 年10月に実施し、参加者は23名であった。

3. 介入プログラムの効果評価として、コミュニティベース質問紙調査-GCQ アンケート 2013-を2013 (平成25) 年4月7日から7月15日に実施した。また、2011 (平成23) 年度から継続して実施している保健所・STIクリニックでの受検者アンケート調査を引き続き実施した。

A. 研究目的

本研究の目的は、2012 (平成24) 年度に執行された研究事業を記述・分析し、効果評価と照合することで、個別施策層向け予防介入事業のモデル構築を試みることにある。

また予防介入事業の資料とするために、近畿地域在住のゲイ・バイセクシュアル男性およびMSMにおけるHIVを含む性感染症に関連した状況や行動を年齢層別に把握することを目的とした。一方で検査行動の促進に関しては大阪府内の保健所等の検査受検者の動向を把握し、エイズ予防指針における個別施策層として指摘されている男性と性行為をする男性(以下、MSM :Men who have sex with men)受検者の特性を明らかにすることを目的とした。

B. 研究方法と対象

本研究の対象は2013 (平成25) 年度にMASH大阪によって執行された予防介入プログラムであり、後述する効果評価の結果と比較検討したうえで考察を加える。考察にあたっては、疫学とその周辺領域のみならず、テキスト分析、ソーシャルマーケティング理論、社会学といった広い領域からの言及を行うこととする。

また、近畿地域においてインターネットを用いて当事者を中心としたコミュニティベース質問紙調査-GCQアンケート2013-を実施した。本調査は全国で同一の方法を用いて行われており、配布地域を明らかにするため各地域で固有のQRコードを設定している。質問の内容は基本属性、検査行動、性行動、性感染症既往歴、

HIVに関する対話経験、周囲の感染者の有無、予防介入プログラムへの接触状況などとした。近畿地域では2013年 (平成25) 4月7日から7月15日までの約3ヶ月間に実施した。

また、大阪府内の15箇所の保健所の協力を得てHIV検査受検者を対象とした質問紙調査を実施した。本調査は2011 (平成23) 年度から継続して実施しており3年目にあたる。本分析では2013 (平成25) 年1月から9月末に得られた回答を対象とした。

C. 研究結果

1. 一次予防関連プログラム

(1) コミュニティレベル

①コミュニティペーパー<SaL+>

(これまでの経過)

2000 (平成12) ~2002 (平成14) 年度に開催された臨時検査イベントSWITCHを通して得られた情報をコミュニティに還元するためのツールとして構想されたコミュニティペーパー<SaL+> (以下、<SaL+> (サルポジ)) は、2003 (平成15) 年度に入りコミュニティペーパー的性格を強めながらコミュニティに浸透してきた。2004 (平成16) 年度に実施したフォローアップ調査の結果、関連知識、受検行動、予防行動のいずれにおいても、受取り群には非受取り群と比較して有意な効果がもたらされた事が示唆された。2009 (平成21) 年度からは、コミュニティ関連情報よりも、セクシュアルヘルス関連情報を前面に打ち出す方向転換を行った。具体的には下記の2点である：1) 特集